

2014 年 8 月 21 日

全国の生活協同組合（連合会）  
専務理事 様

### 広島市大雨土砂災害による被害状況報告（第 1 報）

広島県生活協同組合連合会  
専務理事 高田 公喜  
(公印省略)

このたび、8 月 19 日夜から 20 日明け方にかけて広島市内を中心に発生しました豪雨による土砂災害におきまして、皆様方にご心配をお掛けしていることに感謝いたしております。

被害の状況は、すでに報道されているように、広島市安佐南区、安佐北区を中心に 21 日現在、死亡者 39 名、行方不明者 7 名（広島県警発表）、避難所へ避難されている方が 1,000 名を超えるなど、局地的ではありますが甚大な被害が発生しています。被災された方に心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

県内生協では、被害の大きかった地域を拠点としている広島医療生協の共立病院が 1m 冠水し、医療機器類（CT、エコー等）が水に浸かり、また大雨により 3 階病棟が水満たしになり入院患者が非難するなどの被害を出していますが、幸いにも人的被害は発生しておりません。しかし、福祉事業利用者の数名の死亡が確認されたり、行方不明になるなどの犠牲者が発生しています。安否確認を最優先に対応を致しております。施設に関しては自力復旧が可能であることを現地確認しています。

生協ひろしま、及びグリーンコープ生協ひろしまにおきましては、施設の被害はほとんどなく、組合員の安否確認を最優先に、通常業務を行っております。

ただ、生協職員の被害状況は、人的な被害は発生していないものの、被害地域に住む複数の職員の自宅が被害を受けています。

その他広島県内では、被害はほとんど発生していない状況です。

広島県、広島市では災害対策本部を設置し対応にあたっておりますが、災害時の緊急物資協定を締結している広島県生協連、生協ひろしまは、災害対策本部と連携して対応にあたっております。今のところ物資支援の緊急要請は発生していません。ただ、生協ひろしまでは、コープCS ネットと連携をとり避難所に 1,000 人分の水とパン等を配給し、今週末には共済グループが地域訪問し対応を行う予定です。

とりあえず県内会員生協と連携をとり対応していきますので、よろしく願いいたします。

被害の全貌が明らかになりつつありますが、人命尊重、そして安否確認を最優先し、引き続き情報収集と情報提供をまいります。

以上